

平成19年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰
環境大臣表彰受賞者一覧〔中国四国地方環境事務所管内〕

保全活動部門（2件）

貴重な自然や身近な自然などの保全のため特色ある活動を推進した者等

	受賞者	功績概要
1	岡山淡水魚研究会 （岡山県）	アユモドキ・スイゲンゼニタナゴ等の淡水魚類の調査を実施し、アユモドキの天然記念物指定に尽力。アユモドキの2箇所産卵場所の発見、観察会などの普及啓発活動、外来魚の駆除、水路改修工事に伴う魚類の救出活動など希少淡水魚類の保護を核とした環境保全に尽力。
2	鳥取県西部希少野生植物保全調査研究会 （鳥取県）	大山隠岐国立公園内において、草原の自然再生を目指した草原保全管理事業に必要なボランティア団体として協力するとともに、絶滅危惧類のサクラソウを始め各種絶滅危惧種の保全管理事業を県内にて展開し、希少野生動植物の保全についての普及啓発や人材育成に尽力。

いきもの環境づくり・みどり部門（1件）

地域における野鳥や小動物の生息環境の創出、あるいは日々の暮らしの中でのみどりの普及等を推進した者（事業者、学校等を含む）

	受賞者	功績概要
1	土庄町立湊崎小学校 （香川県）	永年にわたり、愛鳥活動、植樹及び下草刈り活動、ビオトープ整備、花いっぱい活動など環境教育の実践を通じて、地域の野鳥や小動物の生息環境の創出に尽力。

自然ふれあい部門（1件）

自然とのふれあいに関する各種活動や行事を推進した者等

	受賞者	功績概要
1	泉原 猛（愛媛県）	永年にわたり自然観察会や講演会などを通じ、主に野鳥の保護に関する知識・意識の啓発活動を行い、幅広い年代層への自然環境保全の普及啓発に尽力。